



# 吉備中央町 議会だより



81号

令和8年4月20日発行  
発行/岡山県吉備中央町議会  
編集/議会広報編集委員会

## 議会をもっと身近に



吉備中央町議会議員12名

定例会	大幅な緊縮予算編成	2
ピックアップ	旧津賀小・幼改修に約3億円	4
一般質問	ここが聞きたい「公共施設のLED化は」	7

# 算編成

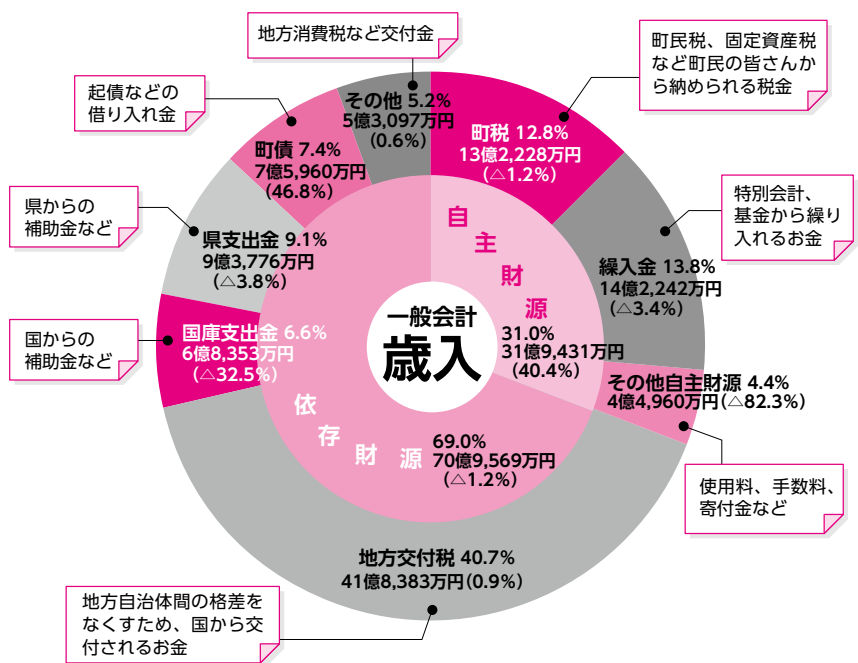
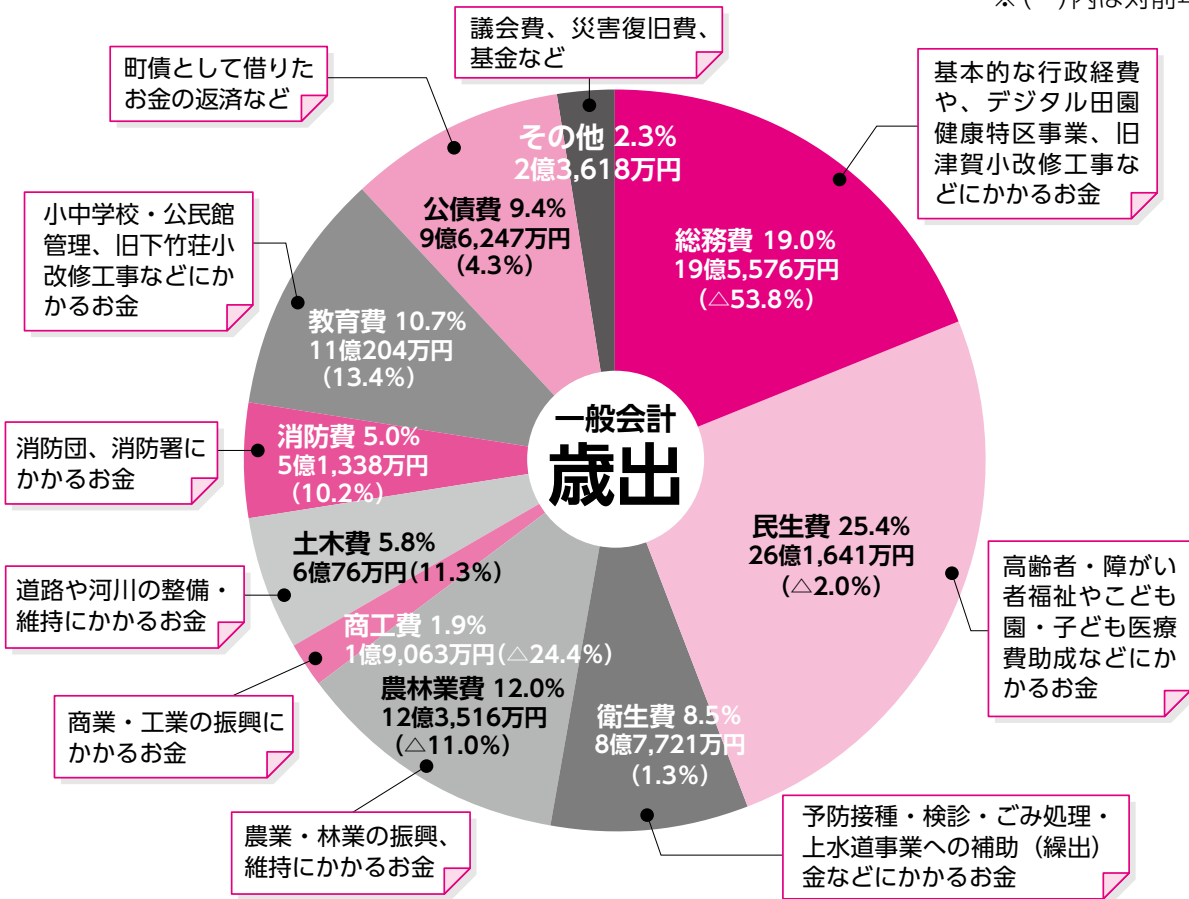
ビスは大丈夫か！～

## 一般会計 102億9,000万円

令和8年度の予算は、過去最大の減少率で、2年ぶりのマイナス編成となり、22億5,000万円(対前年度比△17.9%)の減額予算となりました。

歳入は、ふるさと納税(寄付金)の停止、デジタル事業の新規事業の未実施による大幅な減額。ハード事業(建物の改修)やソフト事業(消防関係の整備負担)などによる町債(町の借金)が増加しました。

※( )内は対前年度比です



### 3 閉校小学校の活用や小学校の整備に重点

令和9年度に向けた教育福祉行政及び加茂川庁舎・津賀公民館などの機能移転による閉校小学校の改修を実施。

また小学校屋内運動場への空調設備を導入し、環境整備を図ります。

予算

ピックアップ

定例会

質疑・討論

一般質問

委員会報告

追跡・編集後記

令和8年

第1回定例会

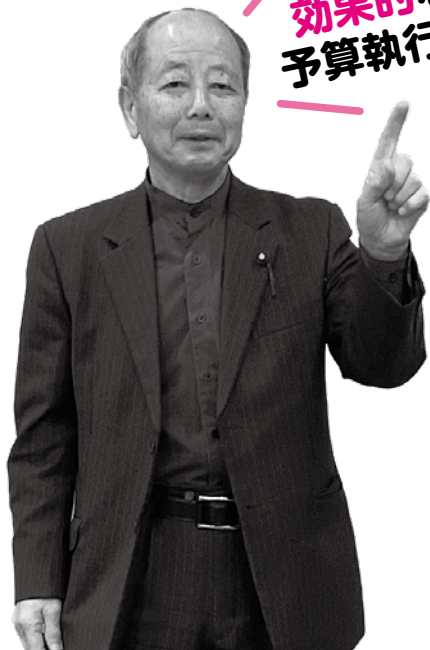
3月3日から24日まで

大幅な緊縮予

～ふるさと納税除外で歳入減 住民サー

会計別予算（令和7年度との比較）

区分	令和8年度	令和7年度	増減額	対前年度比	
一般会計	102億9,000万円	125億4,000万円	△22億5,000万円	△17.9%	
特別会計	国民健康保険	12億5,500万円	13億7,200万円	△1億1,700万円	△8.5%
	介護保険	20億5,330万円	20億9,730万円	△4,400万円	△2.1%
	後期高齢者医療	2億8,220万円	2億1,980万円	6,240万円	28.4%
	再生可能エネルギー事業	2億4,600万円	2億7,700万円	△3,100万円	△11.2%
	育英資金	1,383万円	1,323万円	60万円	4.5%
	診療所	1,726万円	1,654万円	72万円	4.4%
	住宅新築資金等貸付事業	40万円	37万円	3万円	8.1%
	吉川財産区管理会	2,799万円	2,820万円	△21万円	△0.7%
	賀陽財産区管理会	2,362万円	2,362万円	0万円	0%
小計（特別会計）	39億1,960万円	40億4,806万円	△1億2,846万円	△3.2%	
合計（一般会計 + 特別会計）	142億960万円	165億8,806万円	△23億7,846万円	△14.3%	
企業会計	上水道事業会計	9億4,329万円	10億2,614万円	△8,285万円	△8.1%
	下水道事業会計	5億7,263万円	4億2,377万円	1億4,886万円	35.1%

効果的な  
予算執行を

各委員会及び本会議において疑問点を問い、住民の利益になる予算なのかなど慎重審議をおこないました。

令和8年度予算・事業の詳細は、町公式ホームページ「当初予算のあらまし」をご覧ください。



### 1 一般会計予算は過去最大の減少率

一般会計の当初予算は、対前年度比△17.9%の減額。

要因は、ふるさと納税制度の停止、デジタル事業における新規事業の未実施などです。限られた予算であるため、基本的な行政経費や各種事業を精査し、**最小限の経費で最大限の効果となる予算執行を期待**します。

### 2 各種補助事業の継続

**子育て支援事業**（小児等医療費、給食無償化、子育て世帯応援など）、**農家支援事業**（農機具購入助成、有害鳥獣対策など）、**交通支援事業**（へそ8バス、デマンドタクシー、町営バスなど）など、サービスの低下につながらないよう住民への支援は続けられます。各種補助事業は、引き続き利用できます。

# ピックアップ事業

## ここに注目!!!



### 次世代の宝を育むまち

～子育て・教育・文化分野～

新規：1億8,935万円

#### 町内3小学校屋内運動場 エアコン設置工事

近年の温暖化に伴う熱中症対策として、  
3小学校の体育館への空調設備を導入。



### 協働で歩むまち

～行財政分野～

新規：448万円

#### 農産物の海外輸出に 向けたPR事業

(株)天満屋と協力し、農産品を海外へ向け  
て販路拡大。



### 生活しやすい安全なまち

～生活基盤分野～

新規：1億265万円

#### 旧下竹荘小学校改修工事

教育委員会、子育て推進課及び社会福祉  
協議会などの移転に伴う複合施設の整備。



新規：3億650万円

#### 旧津賀小学校・幼稚園改修工事

加茂川総合事務所、定住促進課及びかまがわ  
図書館、津賀公民館などの移転に伴う複合施設  
の整備。



予算

ピックアップ

定例会

質疑・討論

一般質問

委員会報告

追跡・編集後記

# へそ8バスの実証事業を継続

## 新たに回数券を発行

### 3月定例会

3月定例会は、3月3日から24日までの22日間わたって開会されました。

町長から施政方針のほか条例の制定、指定管理者の指定、専決処分及び補正予算、各会計における令和8年度予算が上程されました。

審議の結果、いずれも承認・原案可決され閉会しました。

#### 条例の制定(主なもの)

◎吉備中央町自家用有償旅客運送に関する条例

住民及び町と交流する人の交通手段の確保、住民の福祉増進のため、町営バス(岡山医療センター線、へそ8バス)及びデマンド乗合タクシーの運営。



デマンドタクシー

へそ8バスの実証事業が令和8年4月より1年間延長。回数券発行、ルートの一部変更など。

◎吉備中央町電気自動車用急速充電器の設置及び管理に関する条例

きびプラザ駐車場に設置する電気自動車用急速充電器の設置及び管理。充電には使用料が必要。



急速充電器

◎吉備中央町学校施設の利用にに関する条例

学校施設(屋内運動場の空調設備)を使用するには、使用料が必要。

#### 専決報告

◎吉備中央町一般会計補正予算

物価高騰対策給付金事業として、ベリーグッドカードへ2万円分の電子マネーを付与。使用期限は令和8年8月末まで。町内のベリーグッドカード取扱加盟店での使用が可能。

#### 補正予算

一般会計第7号補正予算は、歳入歳出それぞれ2億9954万6千円を減額、第8号補正予算は、歳入歳出それぞれ1577万6千円を追加し、総額1億15億8738万円。主なものは、各事業における事業精査及び繰越金による財源調整。

#### 指定管理者の指定

◎吉備中央町桜公園  
指定管理者：桜公園管理美化委員会  
(R8.4から3年間)

◎吉備中央町賀陽福祉センター  
指定管理者：社会福祉法人吉備中央町社会福祉協議会  
(R8.4から1年間)

◎吉備中央町総合福祉センター  
指定管理者：社会福祉法人吉備中央町社会福祉協議会  
(R8.4から3年間)

◎吉備中央町ピオーネ集出荷・直売所  
指定管理者：公益財団法人吉備中央農業公社  
(R8.4から3年間)



集出荷・直売所

請願

◎地域防災に関する請願

吉備高原公民館建設時に、防災倉庫エリアの設置及び吉備中央町の危機管理体制を複数担当による体制強化。

↓全会一致で趣旨採択

一般会計予算

**Q** 地域活性化企業人受け入れ負担金、どのような内容か。

**A** 企業などの社員を一定期間受け入れ、ノウハウを生かし地域の魅力向上につながる業務に従事。観光面での人材活用を計画。

**Q** 旧津賀小学校・幼稚園改修工事及び旧下竹荘小学校改修工事、それぞれの工事概要は。また工事費の違いは何か。

**A** 旧津賀小学校・幼稚園に加茂川総合事務所、かもがわ図書館、津賀公民館などが移転するための工事。来場者の駐車場整備、バリアフリー化、

エアコン設置など。金額の違いは、工事内容と改修規模が違う。旧下竹荘小学校に教育委員会、子育て推進課、社会福祉協議会などが移転するための工事。建物は現状のまま活用し、内装のみ改修。

**Q** 生活困窮者支援等のための地域づくり事業の内容と委託先は。

**A** 地域におけるつながりの中で、住民が持つ多様なニーズや生活課題に対応できるように、共助の取り組みを活性化させ、地域づくりを推進。委託先は社会福祉協議会。

**Q** 土砂災害警戒区域である旧下竹荘小学校跡地へ教育福祉行政の移転を決めたが、どこと比較したのか。他の検討先、移転先はなかったのか。

**A** 旧下竹荘小学校の活用においては、地元要望、地理的、加賀中学校の位置など総合的な観点から決定。  
○反対討論（我妻）  
旧下竹荘小学校への移転

を踏まえた工事費用を含む令和8年度予算には反対。関係部署を集約して町民の利便性が上がることは賛成するが、安全性が確保できない予算案に賛成することへの責任を感じる。

特別会計予算

◎国民健康保険特別会計

**Q** こども子育て支援制度により、住民の新たな負担となるが町長の見解は。

**A** 国民全体で子育てがしやすい環境となることで、皆さんに自分の負担をしていただく考えはあっていると思う。保険料が高くなることは痛みを感じるが、理解を求めめる思いである。

○反対討論（我妻）

こども子育て支援制度の財源を、国民健康保険に組み込んでくる国の制度設計の不条理性と、町民の生活を守るという町の役割を果たす観点からも反対。

◎後期高齢者医療特別会計  
岡山県後期高齢者医療広域連合の動きとともに町長の考えは。

**A** 広域連合は県に  
対し、財源確保に  
安定基金40億からの拠出を  
再度要望している。しかし、

県からの回答はない。  
○反対討論（我妻）  
県からの公費投入や制度全体の見直しが必要と考える。町民の暮らしを守る立場から、今回の大幅な保険料の引き上げに反対。

議案に対する各議員の賛否

○賛成 ●反対 ×欠席 -西山議長は採決に加わらない

議案番号	議案	議決結果	日名	渡邊	我妻	高森	丸山	河上	平澤	山崎	石井	片岡	黒田	西山
			由香	順子	瑛子	学	節夫	真智子	一浩	誠	壽富	昭彦	員米	宗弘
専決報告第3号	専決処分の承認を求めることについて（吉備中央町証明等手数料条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第23号	令和8年度吉備中央町一般会計予算について	原案可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第24号	令和8年度吉備中央町国民健康保険特別会計予算について	原案可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第26号	令和8年度吉備中央町後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	-

上記以外の議案については、全員賛成のため表記は省略。

# 10議員が一般質問 ここが聞きたい

令和8年3月16日および17日



わたなべ じゅんこ  
渡邊 順子

**Q** 公共施設のLED化は

**A** 令和12年度を目途に実施

**Q** 2027年度末には蛍光灯が製造停止となる。町内における公共施設のLEDの進捗状況を尋ねる。

**A** 山本総務課長  
小・中学校、放課後児童クラブ、賀陽庁舎は完了。全体としては未設置箇所も多く残っている。

ロマン高原かよう総合会館は1割程度、かもがわ総合スポーツ公園体育館は2割程度の改修。令和12年度を目途にLED化することを目標に進める。

へそ8バス

**Q** へそ8バスの利用実績と今後の運行は。

**A** 総務課長  
今年1月末までの利用実績は、2750人、1日平均13・5人。前年比約15%増加。

今後は、利用実績やご意見を踏まえ、効率化と利便性向上の観点から、



へそ8バス

令和8年度より一部ルートを変更し、引き続き実証運行とする。

**Q** 回数券と乗継券は。

**A** 総務課長  
令和8年度より回数券販売開始。50円券と100円券があり、各11枚綴りで10枚分の金額。販売場所は、賀陽庁舎、加茂川庁舎、各支所、出張所の6カ所。

乗継券は、へそ8バスやデマンド型乗合タクシーなどを乗り継いだ場合には、乗り継ぎ先の運賃が割安または無料になる。詳細は、総務課が乗務員までお気軽におたずねを。

教職員の働き方

**Q** 町内の小・中学校の教職員の時間外勤務の平均は。

**A** 中山教育委員会 事務局長  
令和7年4月から令和8年2月までの集計で、小学校月平均27・1時間、中学校月平均27・4時間。

**Q** は、教師の服務監督権者として、業務量管理・健康確保措置実施計画を策定しなければならない。この策定の内容と進捗状況は。

**A** 教育委員会事務局長  
教育委員会に諮り、承認を得て策定。本年4月より、運用を開始。具体的な取組策として、学校運営協議会などで学校における働き方改革の議題化、部活動の地域展開の推進、教育課程の見直し、また年次休暇の計画的な取得の推進など。



たかもり まなぶ  
高森 学

## Q 浄化槽設置補助金の加算を

## A 8年度から補助金を増額

**Q** 吉備中央町の汚水処理普及率は、県内でも最下位の状況である。合併処理浄化槽設置に係るさらなる上乗せの補助を提案する。

**A** **山本町長** 汚水処理普及率が県内で最も低く、生活環境の整備及び公共用水域の水質保全是喫緊の課題である。令和8年度からは単独処理浄化槽や汲み取り便槽の撤去、配管工事費の補助を引き上げる。この制度を活用して合併処理浄化槽への転換を推進する。

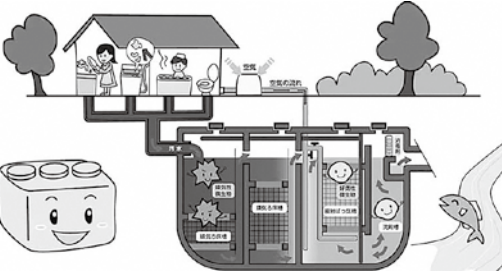
**Q** 下水道などの故障などは町費で対応しているが、合併処理浄化槽の入れ替えや修理に係る費用は個人負担である。管理費などに対し補助してはどうか。

**A** **町長** 下水道などは道路や公園と同様に町が計画的に整備・管理をおこなう基盤施設であるのに対し、合併処理浄化槽

は個人の判断で設置し管理する個人の所有物といった性格を有している。受益者負担の原則に基づき所有者の自己管理責任において適切におこなっていただきたい。今後、町としてどのような支援が可能か、国の動向や他自治体の事例を踏まえ検討する。

**Q** 令和8年度からの加算補助の具体的な改正内容は。

**A** **槽寄水道課長** 単独浄化槽や汲み取りから合併浄化槽の転換に係る補助額に、それぞれ3万円の増額。



## Q 有機肥料による土づくりは

## A 普及・促進を推進する



かたおか あきひろ  
片岡 昭彦

**Q** 農業立町を掲げる町として、5年先、10年先を見据えた有機肥料を活用した土づくりの取り組みは。

**A** **山本町長** 町が設置したエコセンターで畜産排泄物を原料とする有機堆肥を製造している。また昨今の飼料や化学肥料の価格高騰を鑑み、圃場への散布をおこなう自然型循環型農業を推進していく必要がある。

**Q** エコセンター以外の堆肥利用者にも補助金の交付はできないか。

**A** **町長** 補助事業の拡大については、様々な課題もあり慎重に検討をする必要がある。有機肥料の普及は重要であり、有機農法は進めていきたい。

**Q** ふるさと米に代わる米の販売施策の考え方は。

**A** **町長** 各種支援制度の周知や新たな販路開拓を進めるが、現時点ではふるさと米に代わる販売施策として、提示できるものはない。

**Q** 泉大津市への付加価値米としての販売体制の構築は。

**A** **町長** 供給量は限定的であり、ふるさと米規模の買い取りはできない。各農家が現在の比較的高価な米価を活かした販売を期待する。



堆肥の散布状況

まるやま せつお  
丸山 節夫

## Q 農業連携協定の方針は

A 現在、協議中である

**Q** 町は、昨年12月17日、大阪府泉大津市と農業連携協定を締結した。泉大津市が求める有機農法や化学肥料減量化の取り組み方針と、農家対応を問う。

**A** 大月協働推進課長  
泉大津市では、

現在、13の自治体と農業連携協定を締結し、学校給食や妊婦への提供をしている。有機農法や慣行栽培による農産物の購入や農業体験など、生産地と交流人口増加の創出を進めている。町では、連携による必要数量と栽培負担の均衡を鑑み、現在、内容協議を進めている。

**Q** 関連自治体との取引量は、年間当たり5トン程度を目安とし、購入金額は、市場価格を参照することであるが、現況を問う。

**A** 協働推進課長  
具体的な数量、

金額は今後の協議で決定するが、生産地と消費地が互いに均衡を保たれた状態で

の連携持続に努める。

**Q** デジタル事業の取り組み

**A** 町では、急速な人口減少と高齢化

による税収減少や社会保障費の増加により、今後の行財政運営は厳しさを増す状況と察する。

今後のデジタル事業継続の財源確保と持続性、特にランニングコストの確保対策の概要を問う。

**A** 大堰企画課長

町では、令和4年度から国の交付金を活用し、デジタルサービス事業に取り組んでいる。

国庫補助金は、事業導入時の準備費用が対象で、その後の運用保守経費は対象外となり、これらの経費は町単独財源で賄っている。

今後は、既存事業効果の検証と改善を図り、契約内容の見直しや、システム最適化など、コスト構造改善に努める。

**Q** 水道老朽管対策

**A** 法定耐用年数を経過した老朽管の

布設状況と、町総合計画に沿った改善計画の進捗状況を問う。

**A** 樽崎水道課長

町内には、約570kmの水道管が布設されているが、法定耐用年数40年超の管路延長は、約110kmと全体の2割程度である。令和6年度に法定耐用年数を超過する水道管や施設の増加を可視化するため、中・長期的な計画に基づき資産管理計画を策定し、水道管の更新と財政収支の見通しを明らかにした。



漏水による緊急工事

**Q** 第3次町総合計画では、技術職員確保と人材育成をどの様に捉えたか。

**A** 水道課長

技術職員の新規採用に努めているが、一般企業や他の自治体でも技術者不足が顕著である。在籍する職員を長期的に育成していく方法が有効と考える。

**A** 山本町長

今の人員の中で、技術を身に付けることもひとつ。もう一つは、職員確保が難しい中で、技術職を必須とする業務では、県で一元的に取り組むのもひとつの方策として検討すべきと思う。



白名 ゆか香

# Q おっへえそう！チャレンジ事業は

# A 目標を達し、役割を終えた

**Q** おっへえそう！  
チャレンジ事業の  
評価は。

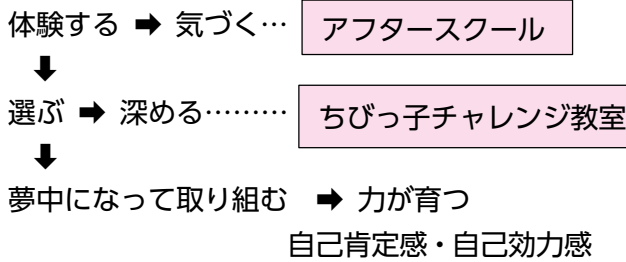
**A** **石井教育長**  
おっへえそう！  
チャレンジ事業は小学校統  
合前から様々な体験活動や  
団体行動を通じて、子ども  
たちの主体性や社会的なス  
キルの定着を図り、中学校  
への進学が円滑におこなえ  
るよう実施してきた。教育  
委員会は、昨今の教育現場  
において、価値観やライフ  
スタイルの多様化、家族形  
態の変容に伴い、子どもた  
ち自身が興味、関心により  
学びを選択することで、よ  
り深い学びとなることが求  
められている。取り組む事  
業も、統合を契機に内容を  
見直していく必要があると  
感じている。

また、中一ギャップ解消  
の取り組みの視点からも、  
一定の役割を終えたと感じ  
ている。本事業は目的を達  
したものと評価をしてい  
る。

**Q** ちびっ子チャレ  
ンジ教室の方向性  
と、それぞれの役割は。

**A** **教育長**  
ちびっ子チャレ  
ンジ教室の方向性は、より  
効果的な社会教育事業とな  
るように、興味関心が高い  
体験活動を一人一人の子ど  
もたちが選択をし、参加者  
が意欲的に取り組める体験  
プログラムや、アフタース  
クールでの体験をさらに深  
める内容を検討している。

## 協働力・生きる力



ちびっ子チャレンジ教室のようす

## 公共交通体系

**Q** 今後のビジョン  
は。  
**A** **山本町長**  
今の公共交通の  
体系を基本的に維持すべ  
き。そうした中で、コスト  
パフォーマンスだけを重視  
してもなかなか成立しな  
い。ただ、その中でも利用  
率の向上にしっかりと努め  
ることが財政負担の軽減に  
もつながる。

公共ライドライドシェアは、実  
施要件の目安として、交通

空白地が対象とされている  
ことから、休日や夜間が対  
象になると考えている。し  
かしながら、利用ニーズや  
ドライバー確保の課題もあ  
る。他自治体の事例もしっ  
かりと情報収集をおこな  
い、今後につなげていきたい。  
**Q** 災害時のスク  
ールバス対応と、へ  
そ8バスの活用は。

**A** **町長**  
へそ8バスは、  
町の基幹ルートを補完する  
巡回バスとして運行してお  
り、買い物や通院、通勤な  
どに利用されている。

一方で、大雪時には岡山  
から来るバスが到着でき  
ず、スクールバスの運行に  
影響が出たことは聞してい  
る。連絡が十分に行き届か  
なかったことが課題であ  
り、いま一度、徹底して、  
連絡網をしっかりと構築す  
る。また、災害時には、へ  
そ8バスなどを代替交通と  
して活用できるように検討し  
ていく。

他、ふるさと納税の質問を  
した。



あづま えいこ  
我妻 瑛子

# Q 危険な避難所への避難は

# A 見直しを図る必要がある

**Q** ハザードマップ  
上危険な区域に位置する避難所がある。災害の種類や状況に応じて最適な場所に避難する必要はある。高齢者等避難や避難指示を町が発令した際などで、土砂災害警戒区域の避難所を開設する運用になっていないか。

**A** 山本総務課長  
土砂災害警戒区域などに指定されている避難所に、積極的に避難誘導をすることは適切ではないと認識をしている。避難所及び避難場所の指定のあり方は、今後見直しを図る必要があると考えている。

**Q** 地域内の主だった指定避難所が洪水、土砂災害の警戒区域となっているところがある。町は「ハザードマップと避難所一覧を参考に各自で判断を」というスタンスであるが、災害に応じた避難所の開設や安全な避難所への誘導を積極的にこなってはどうか。

**A** 総務課長  
地域によって、地形的な特徴や平成30年豪雨で発生した災害箇所の実績などから、早めの防災行動を必要とする地域があることが想定される。台風接近時や線状降水帯による大雨など、水害が想定される場合には、各自地域の降水雨量や土砂災害警戒区域などを事前に確認していただきたい。緊急が高まる前の早め早めの判断で、皆様が迅速な避難行動に移してもらえよう、町として積極的に周知をしていきたい。

**Q** 山間部の本町では、発災時にあちこちの道路が寸断される可能性がある。各避難所での備蓄の充実は。

**A** 総務課長  
各避難所における分散備蓄を一層充実させていく必要があると認識をしている。まずは、全体として必要な備蓄数量が一定程度充足できるよう取り組んだ上で、公民館など、既に分散備蓄をおこなっている施設で追加備蓄できるスペースがあるかどうかを確認し、段階的に充実を図っていく。合わせて新たに分散備蓄が可能な行政施設などがあれば、拠点を増やし、災害時に地域ごとに必要な物資が行き渡る体制づくりを進めていきたい。



総合福祉センターの備蓄品

**Q** 子どもへの血液検査は、何名受けたか。また、汚染発覚後に県外へ転出した県外居住者に対する案内状況は。

**A** 塚田保健課長  
2歳から12歳は39名、13歳から18歳は20名。県外居住者への案内は、改めて知らせる旨の文章を送付している。

**Q** 子どもへの血液検査を受ける方の利便性向上につながるかと考え、引き続き受けやすい体制づくりを前向きに検討する。

**A** 保健課長  
検査を受ける方の利便性向上につながるかと考え、引き続き受けやすい体制づくりを前向きに検討する。

**Q** 成人への甲状腺ホルモン検査は、人間ドックや自治体の健康診断の際にまとめてオプションで受けられるようにできないか。

**A** 成人への甲状腺ホルモン検査は、人間ドックや自治体の健康診断の際にまとめてオプションで受けられるようにできないか。

**PFAS問題**  
子どもに対して毎年おこなうPFAS血中濃度検査、成人への甲状腺ホルモン検査がこの1月から3月にかけておこなわれている。

# Q 令和8年度予算編成は

# A 厳しい査定を実施編成



ひらさわ かずひろ  
平澤 一浩

**Q** 令和6年度の決算委員会の報告を受けて、どのような点に留意して、令和8年度の予算へつなげたのか。

**A** 山本総務課長

予算の執行に関しては、地方自治法第2条に示されているとおり、地方公共団体は、住民の福祉の増進に努めるとともに、最小の経費で最大の効果を上げるようにしなければならぬと規定。令和8年度予算編成では、12月時点の執行状況や事業実績を精査し、担当部署との協議をより厳密におこなった。事業の必要性や実施時期、進捗状況を細かく確認し、実効性の低い事業は見直しをおこなうなど、近年まれにみる厳しい査定を実施。また、決算特別委員会の審査報告に付された意見は、予算編成に最大限反映できるように努めている。

### 【提案】

決算審査の結果が予算にどう反映されたかを「見える化」する仕組みづくりが

重要と考える。議会と執行部が連携し、より効果的なチェック体制の構築を提案。

天満屋グループとの連携事業

**Q** 令和7年度の成果と令和8年度の展望を問う。

**A** 荒谷定住促進課長

令和7年度は、天満屋岡山店で農産物等の直売イベントを実施し、町のPRと販路拡大につなげ、販売額は100万円を超えた。また、11分野にわたる連携内容は、研究・検討を進めた。令和8年度は、東京での移住相談を兼ねた販路拡大イベントや東南アジアへの輸出PRなど、町



天満屋岡山店にて

単独では難しかった取り組みに挑戦。観光振興や職員研修、買い物環境の改善など、多分野での連携強化を進める。

**Q** 令和8年度の目標値は。

**A** 定住促進課長

東京や海外展開による具体的な経済効果の試算は現時点で未定。まずは町の認知度向上を重視する方針。

### 図書館の整備

**Q** 学習環境整備やWi-Fi・電源設備の充実は。

**A** 中山教育委員会事務局長

町内の図書館は「おかもまフリーWi-Fi」エリア内にあり、かまがわ図書館には電源付きの個別学習席を5席、かよう図書館に



かまがわ図書館の自習スペース

は個別席4席を設置。今後移設予定のかまがわ図書館の電源設備は、今後のニーズや利用状況を踏まえ検討。また、誰もが安心して利用できる交流と学びの場となるよう、施設整備を進める。

### 【提案】

おかもまフリーWi-Fiの通信環境の弱さを指摘する声もあるため、実態調査と改善を提案。



やまさき まこと  
山崎 誠

# Q 閉校6小学校はどうか

## A 6校の進捗は異なっている

**Q** 閉校6小学校の現状と、今後の取り組みはどうか。

**A** **大櫻企画課長**  
6校の進捗は異なっている。  
・吉川小は都市農村交流拠点として整備を進めている。  
・下竹荘小と津賀小は9年度行政機能等一部移転を予定。  
・上竹荘小、御北小、大和小は地域の意向を踏まえた活用提案を広く募っていく。

**Q** 整備が決まるまでの間、施設の維持管理はどうか。

**A** **山本総務課長**  
閉校した旧小学校は定期的に通水や喚気、除草を実施している。8年度も引き続き実施する。

**Q** 財産区分の変更により、体育館、校舎などは4月から使えないと3月4日説明された。用途変更手続きはなされるのか。

**A** **総務課長**  
消防法、建築基準法の定めがあり、現在の形態のままでは利用を中止せざるを得ない。屋外運動場は引き続き使用可能である。



閉校した小学校

**Q** デジタル特区事業の評価

**A** **令和4年度特区認定を受け、実装費、ランニングコスト合わせて10億円を超える公費が投入された。実績と評価、来年度の取り組みは。**

**A** **石坂農林課長**  
鳥獣対策DXの各事業は一定の効果があると考えている。運用改善と効果検証を行い、費用対効果を考えながら、実効性の高い取り組みにしていく必要がある。

**A** **総務課長**  
交通DXの各事業はそれぞれ効果があったと評価している。マイクロEVは令和5年度で事業を中止している。

**A** **企画課長**  
新たな交付金事業の申請は見送る。これまでに実装したきびアプリなどの取り組みは継続する。

**水道管路の老朽化対策**

**Q** 近年、水道管の老朽化による事故が増えている。耐用年数を超えた老朽管は約20%、110km程度あるとのことだが、更新計画はどうか。

**A** **檜寄水道課長**  
計画的な施設の更新を目的に、資産の現状、将来見通し、収支見通しを取りまとめたアセットマネジメント計画で対応する。

**PFAS不透明な水質基準設定**

**Q** PFASの水質基準が暫定目標から水道法の基準になる。PFOS、PFOA合計50ng/Lであるが、この値を決める過程で根拠となる内外の論文7割以上が非公開で差し替えられた。近年、例えばデンマークでは合計2ng/L、米国ではPFOS、PFOAそれぞれ4ng/Lと大変厳しい基準となっている。どのように考えるか。

**A** **山本町長**  
50ng/Lは国の機関で正式に決めたものであり、それをしっかり守ることに尽きる。

※他、ふるさと納税、移動投票所を質問した。



くろだ かつよね  
黒田 員米

## Q 緊急地震速報への対応は

## A マニュアルを策定し、周知



携帯電話への通知

**Q** 本年当初の緊急地震速報への初期対応、大雪・凍結による通勤対策など行政の対応は適正だったのか。

**A** 山本総務課長  
令和8年1月6日

日の緊急地震速報時、庁舎内で速報音と揺れは確認したものの、統一的な指示による業務中断などの組織的初動対応はおこなっていない。多くの職員は周囲の状況確認にとどまり、来庁者も少なかつたため特段の対応は取っていない。また、災害時の初動マニュアルはあるものの、緊急地震速報に特化した行動基準は

未整備である。

出先施設の被害状況の確認は、各担当課が安否や被害状況を確認した。しかし、記録や保管方法の統一ルールはなく、被害がない場合は記録が残されていない。また、今回の緊急地震速報に対する対応の検証は、被害が軽微であったことから実施していない。今後は、令和8年度中に対応マニュアルを作成し、職員への周知と各部署単位での危機管理対応強化を図る。

ことから機能維持の重要性を認識しており、今後、安全確保を優先した通勤対応の指導をおこなう。現行の業務継続計画（BCP）は大規模災害を想定したものである。今回の事案への適用は難しいが、災害発生直後、特に勤務時間外では、災害規模によっては一定の職員が参集できない場合が考えられる。今後、町民に不安を与えないよう、状況に応じて適切に対応したい。

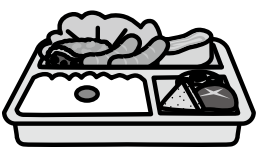
なお、現在の業務継続計画は平成30年6月策定なので、現在の職員の状況を踏まえた計画の見直しをおこなう。

### 放課後児童クラブへの 昼食提供を

**Q** 放課後児童クラブの長期休暇の昼食提供に、小学校の調理場を利用して有料提供できないか。

**A** 片山子育て推進課長  
現在は、長期休暇中の昼食は弁当持参としており、行政としても共働

**A** 子育て推進課長  
現在、長期休暇における有料の食事提供は、保護者のニーズ把握のためアンケートを実施。その結果によっては、業者利用の昼食提供の利用検討を進めたい。



かわかみ まちこ  
河上真智子

## Q 今後の集落排水の対応は

## A ダウンサイジングを検討

Q

農業集  
落排水施  
設は、供用から25

設は、供用から25年が経ち、管路や処理場設備の老朽化の問題に直面している。住民生活に直結する重要なインフラではあるが、人口減少に伴う使用料収入の減少や設備修繕などの支出は増加。現状のままで維持するのは難しいのではないかと。機能を維持しながら事業規模を縮小しコスト削減を図る『ダウンサイジング』の取り組みと、対象地域の住民への説明や意見聴取が必要ではないか。

A

檜寄水道課長

人口減少に伴い

施設の稼働率が低下する中、現在の規模を維持管理し続けることは困難であり、抜本的な見直しは喫緊の課題である。将来の汚水発生量や、現状の施設の使用率に見合った整備の最適化、いわゆる「ダウンサイジング」に向けた検討をおこなっている。多額の更新費用を要する管路や処理施設を維持し続けるのではなく、個人設置型浄化槽への転換も選択肢のひとつとして検討している。現地調査をおこない、検討内容が具体化した段階で、丁寧な説明と意見聴取の機会を設けたい。



農業集落排水処理場

主権者意識の醸成

Q

最も身近な町議  
会選挙でも毎回投

票率は伸び悩んでいる。特に若年層での意識が低いことが気になる。若者が自分事として取り組むことができる『若者議会』の開催や高校生に投票所での役割の一角を担ってもらうことを通じて、主権者意識を高めていただく取り組みはどうか。

A

山本総務課長

他の自治体でも

開催されていることは承知している。若年層が実際にまちづくりに関わることで自分事としてとらえるきつ



高校生の模擬投票体験

Q

役場の機構改革

町民に利用しやす  
く、職員の業務

の平準化やワークライフバランスにも配慮した機構改革が必要ではないか。プロジェクトチームにより検討してはどうか。

A

山本町長

小学校の跡地活

用で体制も変わる。その時にどのような形が一番いいのか検討しながら進めていく。

A

総務課長

機構改革推進プ

ロジェクトチームは、まずどのような人選がより実効性が高いかなどを含めて検討していきたい。

## 広報編集委員会研修報告

# 町村議会広報クリニック／開成町視察

2月18日・19日に、議会広報委員の研鑽を目的として、議会広報クリニックに参加および神奈川県開成町議会を視察しました。

### 町村議会広報クリニックで得られた学び

今回の講評では、「カラーか2色刷りかではなく、中身（企画・構成）が重要である」という点が強調されました。

昨年の助言を踏まえた工夫が評価される一方で、住民に**伝わる内容づくり**の重要性を改めて実感しました。

そのために、暮らしに結びつけて、一目で分かる形にすることが大切です。また、これからは町民の皆さんの声を取り入れた**参加型の広報**が重要です。

今後も分かりやすい広報へと改善していきます。

### 町村議会広報クリニックとは…

より良い議会だよりにすることを目的に、専門家からアドバイスや評価を受ける研修。



令和7年79号の議会だよりをチェックしていただきました！

### 開成町議会視察で得られた学び

開成町議会の視察では、住民に分かりやすく伝える工夫や、議員自らが地域へ出向き対話を重ねている取り組みが印象的でした。



神奈川県開成町 人口：18,710人

#### 開成町議会データ

- 1 議員定数12人
- 2 女性議員比率25% (3人)
- 3 議員の平均年齢58歳

#### ポイント

神奈川県開成町議会は、**魅せる広報**の取り組みが特徴で、タブロイド判（一枚もの）広報と活発な動画配信や、住民に開かれた議会運営を実践しています。

## 私たちの目指す 開かれた議会とは

見える わかる 参加する

まずは、  
あなたの「**想い**」を  
聴かせて下さい



神奈川県開成町議場にて

予算

ピックアップ

定例会

質疑・討論

一般質問

委員会報告

追跡・編集後記

# 今号の表紙 議会をもっと身近に

「伝える」だけでなく、「声を聴き、つなげていく」議会へ

議会について、「分かりにくい」「関わる機会が少ない」と感じておられる方もいらっしゃるかもしれません。

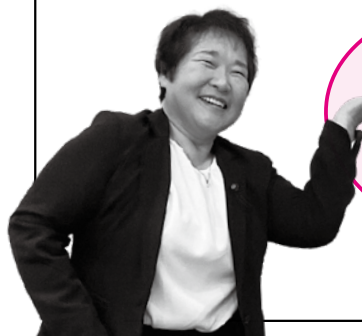
そうした声を受け止め、これからは議員自ら足を運び、分かりやすくお伝えするとともに、町民の皆さんの声を直接お聴きする場を設けられるよう検討しています。

町民の皆さんとともに、  
よりよい町を作る！



## 議会を傍聴しませんか？

本会議は一般に公開されていますので、誰でも自由に見たり、聴いたりすることができます。皆さんの日常生活に関係のある重要な問題が審議されています。



当日傍聴席入口で、傍聴人名簿に住所・氏名などを記入するだけで、事前に予約する必要はありません。

## 3月定例会に足を運んでくださった方のコメント

- 町民にも予算審議の様子がもう少し、伝わる工夫はないのでしょうか？委員会などの傍聴が気軽にできるようになりませんか。（日名義人さん）
- 誰のための町政・議会なのか根本的なことを忘れてはならない。（見尾保男さん）
- 社協の移転後が気になります。（匿名希望）

3月定例会の傍聴者数 延べ5人

## 全国町村議会議長会表彰

西山議長は平成15年に旧賀陽町で当選以降、吉備中央町議会議員として現在に至ります。

豊富な知識と経験に基づき円滑な議会運営、議会改革に取り組んできたことが認められました。



2月16日、表彰を受ける西山議長

# 追跡

あの時の質問  
どうなってる？

過去の一般質問の追跡調査をおこない、進捗状況・結果を報告する。

## Q 質問(令和6年6月定例)

医療用ウィッグ等の外見ケア用品の購入費助成制度を設けるべき。

## A 答弁

外見ケア用品の購入費助成制度は精神的及び金銭的負担を軽減し、自分らしい生活を送る上で必要な支援だと考える。

補助対象や補助率を県内自治体の状況を参考にしながら検討する。

## 現 状 (保健課)

令和6年8月に「吉備中央町がん患者アピアランスケア用品購入費補助金交付要綱」を制定。医療用ウィッグや乳房補正具などの購入費に対し、補助率を1/2とし、3万円を上限とした補助を行っている。利用者も年々増加している。

※アピアランス＝「外見」

## Q 質問(令和5年9月定例)

地球温暖化対策の進捗は。

## A 答弁

改定完了すべく事務作業を進めている。

## 現 状 (住民課)

令和7年度に地球温暖化対策推進法に基づき、吉備中央町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を策定したので、令和8年度に、実行計画の実践をおこなう。



一般質問でも取り上げましたが、蛍光灯をLEDに変えることで電気代の削減やCO<sub>2</sub>削減につながり、環境にもやさしくなります。  
一般質問 P7



(我妻 瑛子)

新人議員5人と渡邊委員長の体制となって1年半。広報の充実に加え、住民の皆さまと双方向で意見を交わせる広聴の取り組みも新たに進め、より身近な議会を目指してまいります。

## 編集後記

地域では卒業式や自治会総会、また議会では新年度予算の審議がおこなわれ、さまざまな節目を迎える時期となりました。春の訪れと希望に心膨らむ一方で、環境の変化から心身の不調が生じやすい頃でもあります。どうか皆さまご自愛ください。

予算

ピックアップ

定例会

質疑・討論

一般質問

委員会報告

追跡・編集後記